

宇田英才教室

ウェブマスター 宇田雄一

The Amounts Base Coaching Method

wooder.pro.tok2.com

Yuichi Uda

ソレダケノモン方式コーチングは、生徒と先生と種目のそれぞれがどれだけの物かに忠実に従う指導法であり、内容の豊富さやレベルの高さを表す場合にも内容の乏しさやレベルの低さを表す場合にも使われる「それだけのもん」という慣用表現の含蓄を利用して私が名付けた。生徒がどれだけの者かは、その生徒がどういう性質と能力を持っているかであり、性質としては意欲や向上心や積極性や価値観や好み、能力としては先天的な素質や才能と指導授受開始時の到達済み能力が挙げられる。先生がどれだけの者かは、知識と表現力と模範価値などで量られる。種目がどれだけの物かは、生徒や先生を惹き付ける魅力と、その結果得た人気と、その結果生じる競争の激しさで量られる。以下、積極度を x とし種目を y とし競争結果を z とする。生徒の性質は、 x してまで y で z を出したいとは思わないか、それとも、 x してでも y で z を出したいと思うか、の境界を表す x と y と z の関数関係で表される。生徒の能力は、 x すれば y で z を出せるのか、それとも、 x しても y で z を出すのは無理なのか、の境界を表す x と y と z の関数関係で表される。先生の知識は、生徒がどうすれば競争結果がどうなるかや先生がどう教えれば生徒がどうするかについての知識だ。先生の表現力は、そういう知識や種目の魅力を生徒に伝達する能力だ。先生の模範価値は、先生が生徒にとっての目標にどの程度成っているかだ。先生の過去の栄光は模範価値に、実技能力は表現力と模範価値の両方に属する。 y の人気は、 x してでも y で z を出したいと思われるか、それとも、 x してまで y で z を出したいとは思われないか、の境界を表す x と z の関数関係で表される。 y の競争の激しさは、 x すれば y で z を出せるのか、それとも、 x しても y で z を出すのは無理なのか、の境界を表す x と z の関数関係で表される。ソレダケノモン方式コーチングは、能率を高める方法論ではなく正義の基準だ。これに従わない事は必ず何らかの形で他人の物を盗る事に相当するからだ。先生が生徒に義務以上の事を強要する事は、その生徒から盗る行ないであるだけでなく、他の生徒の自発的な積極度の高さを埋没させる点で、他生徒から盗る行ないでもある。会場では、ソレダケノモンに忠実に従う、とは具体的にはどういう事か、についても触れたい。